



2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月5日

上場会社名 キックマン株式会社

上場取引所 東

コード番号 2801 URL <https://www.kikkoman.com/jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 祥三郎

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起 TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	248,681	16.8	27,634	25.9	27,086	22.2	29,651	30.1	21,367	31.3	24,398	68.2
2021年3月期第2四半期	212,892	—	21,950	—	22,159	—	22,790	—	16,278	—	14,508	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	111.41	—
2021年3月期第2四半期	84.79	—

(注) 1. 当社グループは2021年3月期からIFRSを適用しております。そのため、2021年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した段階利益です。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	453,940	330,583	324,846	71.6
2021年3月期	438,508	313,514	308,130	70.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	21.00	—	24.00	45.00
2022年3月期	—	22.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	493,800	12.4	49,700	16.5	48,200	15.7	51,300	18.8	36,400	16.8	189.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	193,883,202株	2021年3月期	193,883,202株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	2,266,001株	2021年3月期	1,911,533株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	191,788,851株	2021年3月期2Q	191,974,013株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

- (1) 第2四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。
- (2) 第2四半期決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における世界経済は、景気に持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、依然として厳しい状況にありました。

そのような状況の中で、当社グループの売上は、国内については、食品が堅調に推移し、しょうゆ、飲料、酒類は前年同期に及ばなかったものの、食料品製造・販売事業全体で前年同期を上回りました。海外については、食料品製造・販売及び食料品卸売事業ともに好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

その結果、当第2四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	2020年4月1日～ 2020年9月30日		2021年4月1日～ 2021年9月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 収 益	212,892	100.0	248,681	100.0	35,788	116.8	—	8,074	27,713	113.0
事 業 利 益	21,950	10.3	27,634	11.1	5,684	125.9	0.8	1,023	4,660	121.2
営 業 利 益	22,159	10.4	27,086	10.9	4,926	122.2	0.5	926	3,999	118.0
税引前四半期利益	22,790	10.7	29,651	11.9	6,861	130.1	1.2	923	5,937	126.1
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	16,278	7.6	21,367	8.6	5,088	131.3	1.0	694	4,394	127.0
USD	106.68		110.18		3.50					
EUR	121.36		130.97		9.61					

<報告セグメント>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	2020年4月1日～ 2020年9月30日		2021年4月1日～ 2021年9月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
国内 食料品製造 ・販売	売上収益	75,213	100.0	75,704	100.0	490	100.7	—	490	100.7
	事業利益	6,399	8.5	6,578	8.7	179	102.8	0.2	179	102.8
国内 その他	売上収益	10,474	100.0	10,606	100.0	131	101.3	—	131	101.3
	事業利益	958	9.1	876	8.3	△81	91.5	△0.8	△81	91.5
海外 食料品製造 ・販売	売上収益	49,441	100.0	57,034	100.0	7,593	115.4	—	2,551	110.2
	事業利益	10,324	20.9	12,331	21.6	2,007	119.4	0.7	547	114.1
海外 食料品卸売	売上収益	92,280	100.0	121,439	100.0	29,159	131.6	—	5,855	125.3
	事業利益	4,969	5.4	8,392	6.9	3,422	168.9	1.5	397	160.9
調整額	売上収益	△14,516	100.0	△16,103	100.0	△1,586	—	—	△332	△1,254
	事業利益	△702	—	△545	—	156	—	—	78	77
連 結	売上収益	212,892	100.0	248,681	100.0	35,788	116.8	—	8,074	27,713
	事業利益	21,950	10.3	27,634	11.1	5,684	125.9	0.8	1,023	4,660
USD	106.68		110.18		3.50					
EUR	121.36		130.97		9.61					

各事業別セグメントの業績の概要は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、テレビ宣伝を中心とした商品の付加価値を伝えるマーケティング施策等を実施致しましたが、「いつでも新鮮」シリーズなど主力商品が前年並みとなり、家庭用分野全体として前年同期を下回りました。加工・業務用分野は、前年の新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

■食品部門

つゆ類は、ストレートタイプつゆの「具麺」シリーズが好調に推移し、前年同期を上回りました。たれ類は、前年同期並みになりました。「うちのごはん」は、21年2月発売の新シリーズ「肉おかずの素」の売上が好調に推移し、前年同期を上回りました。デルモンテ調味料は、家庭用分野が苦戦したものの、加工・業務用分野が増加し、前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては、前年同期の売上を上回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、健康志向の高まりを背景に需要が拡大し、飲用だけでなく料理素材として豆乳を使う消費者も増えております。しかしながら、主力商品である調製豆乳が当期は振るわず、前年同期の売上を下回りました。デルモンテ飲料は、トマトジュースが振るわず、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭用分野では、高付加価値商品の「米麴こだわり仕込み本みりん」などが売上を伸ばし、加工・業務用分野でも大型容器が増加し、前年同期を上回りました。ワインは前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期並みの売上となりました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上収益は757億4百万円（前年同期比100.7%）、事業利益は65億7千8百万円（前年同期比102.8%）と、増収増益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

化成品等は、臨床診断薬が伸長し、前年同期の売上を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

この結果、国内 その他事業の売上収益は106億6百万円（前年同期比101.3%）、事業利益は8億7千6百万円（前年同期比91.5%）と、増収減益となりました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用分野では、主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れており、当社のブランド力を活かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かな対応をして事業の拡大を図りました。この結果、前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、主要市場であるドイツ、フランス、イタリアなどで売上を伸ばし、前年同期の売上を上回りました。

アジア・オセアニア市場においては、中国市場では前年の新型コロナウイルス感染症の影響から回復したことにより、前年同期の売上を上回りました。また、インドネシア・タイ等においても売上を伸ばし、全体として前年同期を上回りました。この結果、部門全体では前年同期の売上を上回りました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。中国の伸びが全体を牽引し、部門全体で前年同期の売上を上回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

部門全体では前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上収益は570億3千4百万円（前年同期比115.4%）、事業利益は123億3千1百万円（前年同期比119.4%）と、増収増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米では、新型コロナウイルス感染症による規制が緩和され外食需要が回復してきていることから、前年同期を上回りました。また、欧州、アジア・オセアニアでも同様の理由により前年同期を上回りました。

この結果、卸売事業全体では、前年同期の売上を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上収益は1,214億3千9百万円（前年同期比131.6%）、事業利益は83億9千2百万円（前年同期比168.9%）と、増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期の連結業績は、売上収益は2,486億8千1百万円（前年同期比116.8%）、事業利益は276億3千4百万円（前年同期比125.9%）、営業利益は270億8千6百万円（前年同期比122.2%）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は213億6千7百万円（前年同期比131.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,999億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億7千3百万円増加いたしました。これは主に、棚卸資産及びその他の流動資産が増加したことによるものであります。非流動資産は、2,540億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ78億5千8百万円増加いたしました。これは主に、その他の金融資産（非流動）及び有形固定資産が増加したことによるものであります。

この結果、資産は、4,539億4千万円となり、前連結会計年度末に比べ154億3千1百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、711億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億8千4百万円減少いたしました。これは主に、その他の流動負債が増加したものの、営業債務及びその他の債務が減少したことによるものであります。非流動負債は、522億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千2百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債が増加したものの、リース負債及び退職給付に係る負債が減少したことによるものであります。

この結果、負債は、1,233億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億3千6百万円減少いたしました。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本は、3,305億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ170億6千8百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は71.6%（前連結会計年度末は70.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、北米、欧州、アジア・オセアニア地域を中心に、規制が緩和され外食需要が回復してきていることから、売上収益、事業利益、営業利益、税引前四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益のいずれも、2021年7月2日付で発表した2022年3月期の第2四半期連結業績予想を上回ることとなりました。通期連結業績予想につきましても、最近の業績動向を踏まえ、前回発表の通期連結業績予想を、増収増益で修正しております。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（2021年6月22日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。詳細につきましては、本日発表の「2022年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(通期)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	462,800	43,400	41,800	42,900	29,100	151.58
今回発表予想(B)	493,800	49,700	48,200	51,300	36,400	189.87
増減額(B-A)	31,000	6,300	6,400	8,400	7,300	—
増減率(%)	6.7	14.5	15.3	19.6	25.1	—
(ご参考)前年実績 (2021年3月期)	439,411	42,650	41,672	43,194	31,159	162.31

※為替レート的前提 前回発表予想 通期 USD 107.0円 EUR 128.0円
今回発表予想 通期 USD 110.0円 EUR 130.0円

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	55,678	55,849
営業債権及びその他の債権	62,579	63,796
棚卸資産	63,085	68,076
その他の金融資産	5,598	4,166
その他の流動資産	5,403	8,031
流動資産合計	192,346	199,919
非流動資産		
有形固定資産	127,077	130,019
投資不動産	9,388	9,328
使用権資産	22,145	21,773
のれん	5,006	5,006
無形資産	5,075	4,954
持分法で会計処理されている投資	3,545	3,702
その他の金融資産	63,267	68,464
退職給付に係る資産	7,440	7,565
繰延税金資産	3,005	3,033
その他の非流動資産	209	172
非流動資産合計	246,162	254,020
資産合計	438,508	453,940

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	50,600	47,538
借入金	3,950	4,089
リース負債	4,967	4,837
未払法人所得税等	4,210	4,480
その他の金融負債	445	391
その他の流動負債	8,522	9,774
流動負債合計	72,696	71,112
非流動負債		
借入金	13,400	13,400
リース負債	19,346	19,181
繰延税金負債	8,529	8,734
退職給付に係る負債	5,047	4,941
その他の金融負債	4,067	4,075
その他の非流動負債	1,906	1,910
非流動負債合計	52,297	52,244
負債合計	124,993	123,357
資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	13,695	13,696
利益剰余金	267,073	283,835
自己株式	△3,658	△6,167
その他の資本の構成要素	19,420	21,883
親会社の所有者に帰属する持分合計	308,130	324,846
非支配持分	5,384	5,737
資本合計	313,514	330,583
負債及び資本合計	438,508	453,940

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	212,892	248,681
売上原価	136,965	160,157
売上総利益	75,927	88,524
販売費及び一般管理費	53,976	60,889
事業利益	21,950	27,634
その他の収益	3,191	1,287
その他の費用	2,981	1,835
営業利益	22,159	27,086
金融収益	1,942	3,432
金融費用	1,392	988
持分法による投資利益	80	120
税引前四半期利益	22,790	29,651
法人所得税費用	6,272	8,016
四半期利益	16,517	21,635
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	16,278	21,367
非支配持分	239	267
四半期利益	16,517	21,635
基本的1株当たり四半期利益(円)	84.79	111.41

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	16,517	21,635
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	795	626
確定給付制度の再測定	△26	—
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	16	66
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,765	2,082
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△29	△12
税引後その他の包括利益	△2,009	2,763
四半期包括利益	14,508	24,398
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	14,449	23,844
非支配持分	59	554

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2020年4月1日残高	11,599	13,695	240,646	△3,641	△5,453	0
四半期利益			16,278			
その他の包括利益					△2,587	△29
四半期包括利益	—	—	16,278	—	△2,587	△29
自己株式の取得				△6		
自己株式の処分		0		0		
配当金			△4,032			
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			522			
非金融資産等への振替						29
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	0	△3,509	△6	—	29
2020年9月30日残高	11,599	13,695	253,415	△3,647	△8,040	0

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定	合計			
2020年4月1日残高	15,411	—	9,958	272,258	5,285	277,543
四半期利益			—	16,278	239	16,517
その他の包括利益	824	△36	△1,829	△1,829	△180	△2,009
四半期包括利益	824	△36	△1,829	14,449	59	14,508
自己株式の取得			—	△6		△6
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△4,032	△295	△4,328
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△559	36	△522	—		—
非金融資産等への振替			29	29		29
その他の増減			—	—	107	107
所有者との取引額等合計	△559	36	△493	△4,009	△188	△4,197
2020年9月30日残高	15,676	—	7,635	282,698	5,156	287,854

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2021年4月1日残高	11,599	13,695	267,073	△3,658	2,308	23
四半期利益			21,367			
その他の包括利益					1,797	△12
四半期包括利益	—	—	21,367	—	1,797	△12
自己株式の取得				△2,509		
自己株式の処分		0		0		
配当金			△4,608			
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			3			
非金融資産等への振替						△10
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△0		
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	0	△4,605	△2,508	—	△10
2021年9月30日残高	11,599	13,696	283,835	△6,167	4,106	0

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定	合計			
2021年4月1日残高	17,088	—	19,420	308,130	5,384	313,514
四半期利益			—	21,367	267	21,635
その他の包括利益	698	△7	2,477	2,477	286	2,763
四半期包括利益	698	△7	2,477	23,844	554	24,398
自己株式の取得			—	△2,509		△2,509
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△4,608	△201	△4,810
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△10	7	△3	—		—
非金融資産等への振替			△10	△10		△10
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減			—	△0		△0
その他の増減			—	—	△0	△0
所有者との取引額等合計	△10	7	△14	△7,128	△201	△7,329
2021年9月30日残高	17,777	—	21,883	324,846	5,737	330,583

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。報告セグメントの決定にあたっては事業セグメントの集約を行っていません。

当社は、持株会社として主に、グループ戦略の立案、事業会社の統括管理を行っており、その下で、国内は事業会社を食料品の製造及び販売を主とする事業とそれ以外に区分し、海外は持株会社の海外管理部門が事業会社を食料品製造・販売事業と東洋食品の卸売を行う事業に区分し管理しております。

したがって、当社グループは、国内、海外の地域と事業の種類が複合された報告セグメントから構成されており、「国内 食料品製造・販売事業」、「国内 その他事業」、「海外 食料品製造・販売事業」及び「海外 食料品卸売事業」の4つを報告セグメントとしております。

「国内 食料品製造・販売事業」は、国内においてしょうゆ・食品・飲料・酒類の製造・販売を行っており、「国内 その他事業」は、医薬品・化成品等の製造・販売、不動産賃貸、運送事業及び間接業務の提供等を行っております。「海外 食料品製造・販売事業」は、海外においてしょうゆ・デルモンテ製品・健康食品の製造・販売を行い、また、海外向けの輸出販売を行っております。「海外 食料品卸売事業」は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額である事業利益を使用しております。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報は以下の通りです。

前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	国内食料品 製造・販売	国内 その他	海外食料品 製造・販売	海外食料品 卸売	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	73,731	3,619	43,504	92,038	212,892	—	212,892
セグメント間の売上 収益	1,481	6,855	5,937	242	14,516	△14,516	—
合計	75,213	10,474	49,441	92,280	227,409	△14,516	212,892
セグメント利益	6,399	958	10,324	4,969	22,652	△702	21,950
その他の収益	—	—	—	—	—	—	3,191
その他の費用	—	—	—	—	—	—	2,981
金融収益	—	—	—	—	—	—	1,942
金融費用	—	—	—	—	—	—	1,392
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	80
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	22,790

(注) セグメント利益の調整額は、主として全社費用配賦差額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	国内食料品 製造・販売	国内 その他	海外食料品 製造・販売	海外食料品 卸売	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	74,261	3,741	49,404	121,274	248,681	—	248,681
セグメント間の売上収 益	1,442	6,864	7,630	165	16,103	△16,103	—
合計	75,704	10,606	57,034	121,439	264,784	△16,103	248,681
セグメント利益	6,578	876	12,331	8,392	28,179	△545	27,634
その他の収益	—	—	—	—	—	—	1,287
その他の費用	—	—	—	—	—	—	1,835
金融収益	—	—	—	—	—	—	3,432
金融費用	—	—	—	—	—	—	988
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	120
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	29,651

(注) セグメント利益の調整額は、主として全社費用配賦差額であります。